

調査研究題目: 甲虫と訪花性昆虫類を対象としたデータベースの構築
研究機関名: 国立大学法人 九州大学大学院農学研究院
代表研究者: 教授 多田内 修

1. 作成したデータベース内容

概要

本データベースは、GBIFへのデータ提供を前提に、重点分類群の一つである昆虫について、特にデータベース化に対する要求の高い甲虫と訪花性昆虫類を対象に、重要コレクションを擁する複数の研究機関が協同しながら、タイプ標本及び一般標本を対象に画像情報も含む標本データベースを構築しようというものである。このような試みは我が国においては初めてであり、今後、国内に保管されている昆虫標本情報のデータベース化を進めて行く上でのモデルケースとなると考えられる。

(1) . データ源、データ発生場所および入力件数

データ源

九州大学 1 名、北海道大学 2 名、愛媛大学 1 名の本事業の代表者および分担者が中心となり、それぞれの研究機関が所蔵する甲虫類および訪花性ハナバチ類標本について、タイプ標本および一般標本のデータベース化を進めた

データの発生・収集場所

代表者及び分担者の所属する九州大学、北海道大学、愛媛大学の 3 大学の自機関で発生・収集したもの。

データの保存媒体とデータ件数

19 年度計画ではデータ件数は合計 3 万件を予定していたが、九州大学での一般標本 (甲虫類および訪花性ハナバチ類) の入力が予想以上に進み、合計約 6 万件となった。

(1) データ件数と保存媒体

標本

自機関

甲虫と訪花性昆虫類 44,962 件 (一般標本)

他機関

北海道大学 甲虫類 2,212 件 (タイプ標本、画像含む)

愛媛大学 甲虫類 15,027 件 (主として一般標本)

合計 62,201 件

(2) 平成 20 ~ 22 年度に作成できるデータ件数見込み

年平均 4 ~ 5 万件。タイプ標本については画像も撮影しているため、入力に時間がかかっているが、一般標本に入れば、画像撮影は行わないので、入力件数は大幅に増加すると思われる。九州大学ではタイプ標本の入力は完了し一般標本の入力を行っている。

(2) . データ入力形式

文字および一部画像 (タイプ標本のみ) を含む。ダーウィンコアの GBIF 仕様のエクセルファイルに入力している。

(3) . データのクオリティコントロール

昨年度に引き続き、日本昆虫学会所属のそれぞれの昆虫群の専門家によるクオリティチェックを行った。また、本データベースのうち、タイプ標本については各レコードに詳細画像付加がデフォルトになっているので、実際の標本画像を見ながら同定が正しいかどうかのクオリティチェックを行った。

(4) . データ公開

本年度入力した全データを、GBIF 日本ノードに平成20年4月末日までに提供し、国際共同利用に供する。

また、九大のサーバからもインターネットを通じての公開も行う(平成20年8月予定)。

(5) . 本課題終了後のデータ追加更新およびデータベース運用体制、および問題点

(5-1) データベース運用体制

GBIF 日本ノードでの運用体制については提供する側なので関知するところではないが、少なくとも九大サーバでのデータベースについては運用を代表者が責任をもって継続する。

(5-2) データの追加・更新体制

データベース構築予算があれば、JST 予算にかかわらず入力事業を行い、随時データの追加・更新を行う。

(5-3) 追加・更新したデータの GBIF 日本ノードへの提供スケジュール

各年度末にデータを取りまとめ、次年度4月にはデータを提供する。

(5-4) 見込まれる予算

予算に応じてデータの入力件数が決まってくる。今年度の予算で入力予定件数は十分対応できる。

(6) . その他

2 . H19年度の実施状況

	H19/ 7月	8月	9月	10月	11月	12月	H18/ 1月	2月
(1) . 会議開催等								
(2) . データ作成・入力								
(3) . 試験公開・公開 (自機関サーバ、他機関サーバを問いません)								
(4) . その他(具体的に記述してください)								

3. 実施体制

開発責任者	多田内 修、九州大学大学院農学研究院、教授、 全体の総括、訪花性昆虫類のデータチェック
参加研究者	吉澤和徳、北海道大学大学院農学研究科、助教 甲虫類のデータチェック 大原昌宏、北海道大学総合博物館、准教授 甲虫類のデータチェック 酒井雅博、愛媛大学農学部、准教授 甲虫類のデータチェック * 今年度は参加研究者の見直しを行い、1研究部局1名とすることにし、愛媛大学農学部からは酒井准教授1名とした。九大博物館については、今年度は多田内九大教授が代理で担当した。次年度は契約があれば後任助教が決まったので、参加してもらう予定である。

4. アドバイザリー委員会 (設置なし)

(5-1) 構成員

(5-2) 委員会開催日、開催場所および概要

5. ワーキンググループ (設置なし)

(5-1) 構成員

(5-2) ワーキンググループ開催日、開催場所および概要